

「食の安全・安心」についてのアンケート結果

県民の皆さんが食の安全・安心に関して、日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の県政(滋賀県食の安全・安心推進計画や滋賀県食品衛生監視指導計画など)に反映するため、アンケート調査を実施しました。

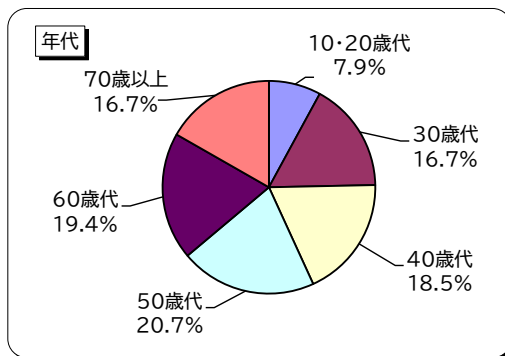
なお、このアンケートは、県民の皆様の意識の推移も参考とさせていただいておりますので、平成17年度より継続して実施しています。

- ★ 実施時期: 令和8年6月
- ★ 対象者: 県政モニター 300人
- ★ 回答数: 227人 (回収率: 75.7%)
- ★ 担当課: 健康医療福祉部生活衛生課食の安全推進室
(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

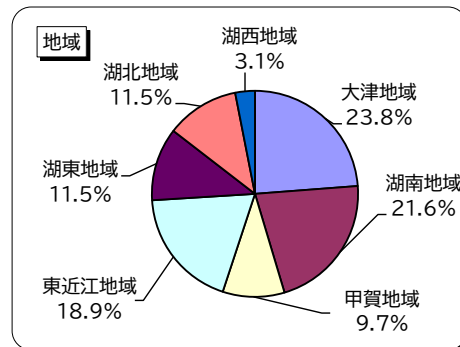
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	18	7.9%
30歳代	38	16.7%
40歳代	42	18.5%
50歳代	47	20.7%
60歳代	44	19.4%
70歳以上	38	16.7%
合計	227	100.0%



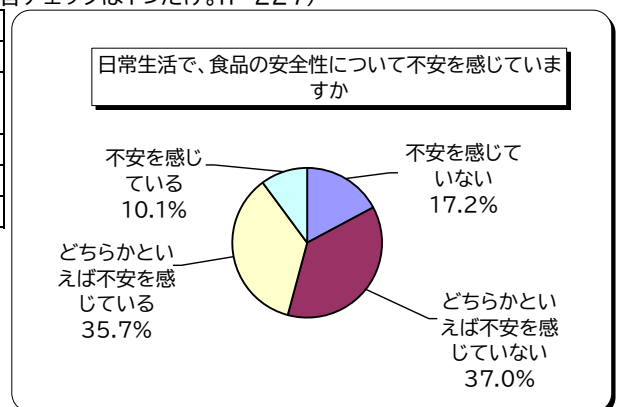
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	54	23.8%
湖南地域	49	21.6%
甲賀地域	22	9.7%
東近江地域	43	18.9%
湖東地域	26	11.5%
湖北地域	26	11.5%
湖西地域	7	3.1%
合計	227	100.0%



問1 あなたは日常生活で、食品の安全性について不安を感じていますか。(回答チェックは1つだけ。n=227)

項目	人数(人)	割合
不安を感じていない	39	17.2%
どちらかといえば不安を感じていない	84	37.0%
どちらかといえば不安を感じている	81	35.7%
不安を感じている	23	10.1%
合計	227	100.0%



【問1で「不安を感じていない」または「どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方にお尋ねします。】

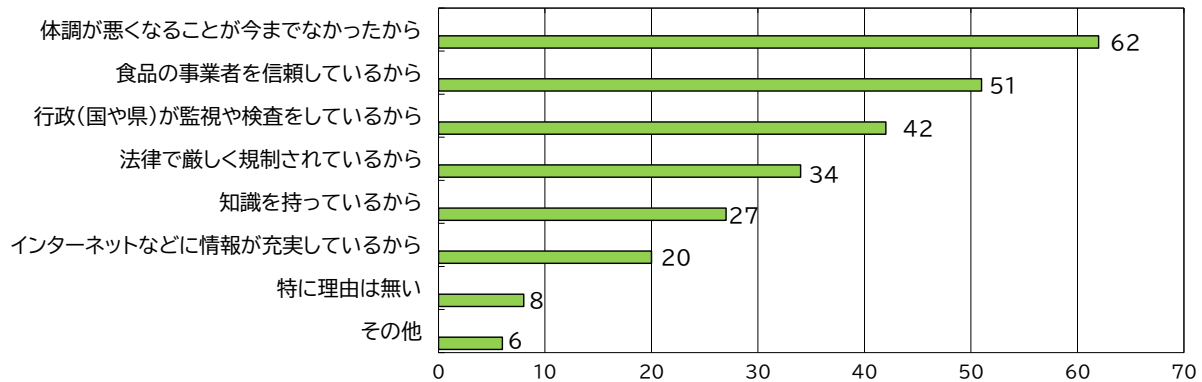
問2 食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか。

(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=123)

項 目	人数(人)	割合
体調が悪くなることが今までなかったから	62	50.4%
食品の事業者を信頼しているから	51	41.5%
行政(国や県)が監視や検査をしているから	42	34.1%
法律で厳しく規制されているから	34	27.6%
知識を持っているから	27	22.0%
インターネットなどに情報が充実しているから	20	16.3%
特に理由は無い	8	6.5%
その他	6	4.9%

食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか

人数(人)



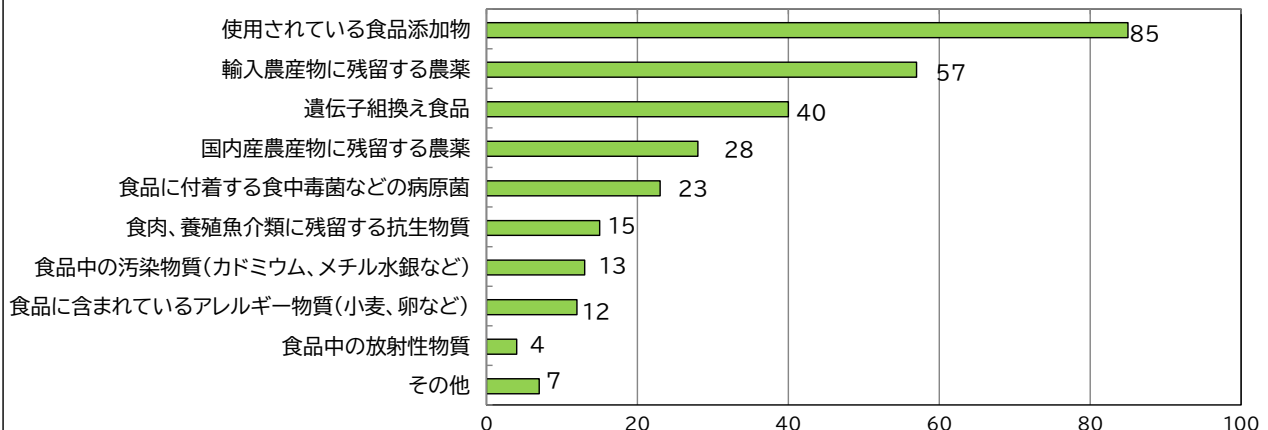
【問1で「どちらかといえば不安を感じている」または「不安を感じている」と回答された方にお尋ねします。】

問3 食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか。(回答チェックは3つまで。n=104)

項 目	人数(人)	割合
使用されている食品添加物	85	81.7%
輸入農産物に残留する農薬	57	54.8%
遺伝子組換え食品	40	38.5%
国内産農産物に残留する農薬	28	26.9%
食品に付着する食中毒菌などの病原菌	23	22.1%
食肉、養殖魚介類に残留する抗生物質	15	14.4%
食品中の汚染物質(カドミウム、メチル水銀など)	13	12.5%
食品に含まれているアレルギー物質(小麦、卵など)	12	11.5%
食品中の放射性物質	4	3.8%
その他	7	6.7%

食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか

人数(人)

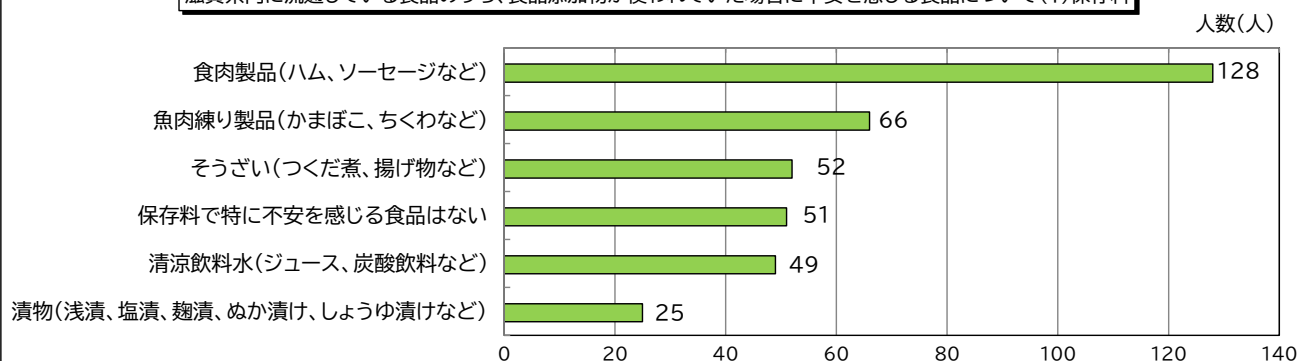


問4 次の(1)～(3)の項目について、滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について該当するものを選んでください。(各項目回答チェックは2つまで)(n=227)

(1)保存料

項 目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	128	56.4%
魚肉練り製品(かまぼこ、ちくわなど)	66	29.1%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	52	22.9%
保存料で特に不安を感じる食品はない	51	22.5%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	49	21.6%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	25	11.0%

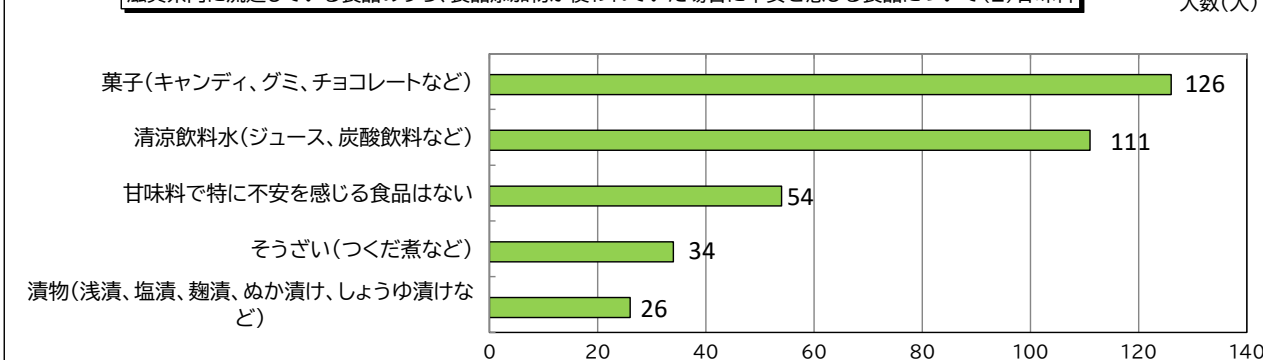
滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について(1)保存料



(2)甘味料

項 目	人数(人)	割合
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	126	55.5%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	111	48.9%
甘味料で特に不安を感じる食品はない	54	23.8%
そうざい(つくだ煮など)	34	15.0%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	26	11.5%

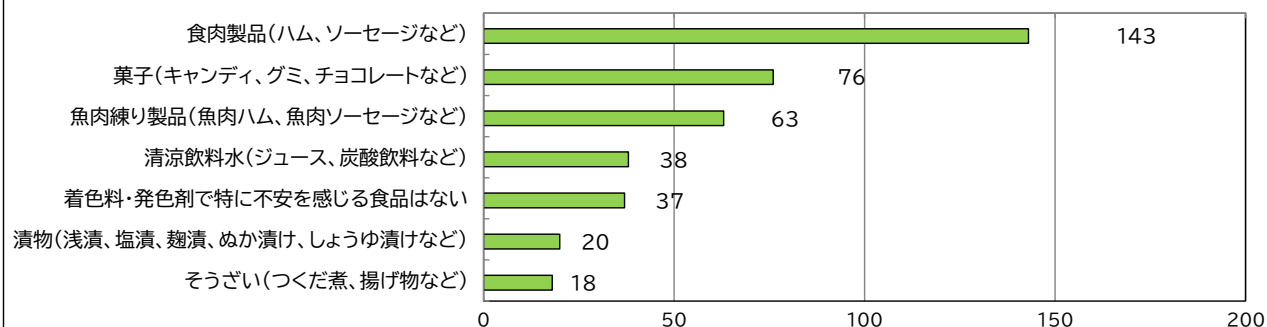
滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について(2)甘味料



(3)着色料・発色剤

項 目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	143	63.0%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	76	33.5%
魚肉練り製品(魚肉ハム、魚肉ソーセージなど)	63	27.8%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	38	16.7%
着色料・発色剤で特に不安を感じる食品はない	37	16.3%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	20	8.8%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	18	7.9%

滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について(3)着色料・発色剤 人数(人)



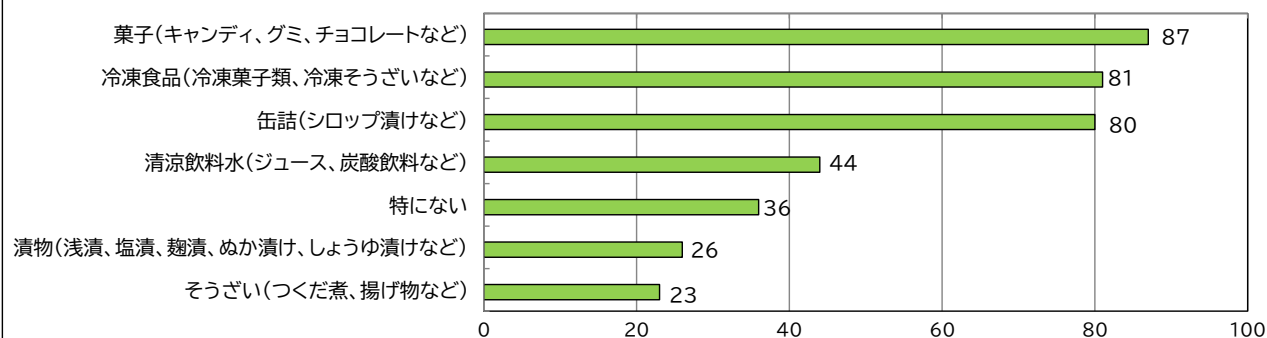
問5 次のうち、指定外添加物※(甘味料、着色料、酸化防止剤)が使用されているのではないかと感じる輸入食品はありますか？
(回答チェックは2つまで)(n=227)

〈※指定外添加物：日本では使用が認められていない食品添加物〉

項 目	人数(人)	割合
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	87	38.3%
冷凍食品(冷凍菓子類、冷凍そうざいなど)	81	35.7%
缶詰(シロップ漬けなど)	80	35.2%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	44	19.4%
特にない	36	15.9%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	26	11.5%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	23	10.1%

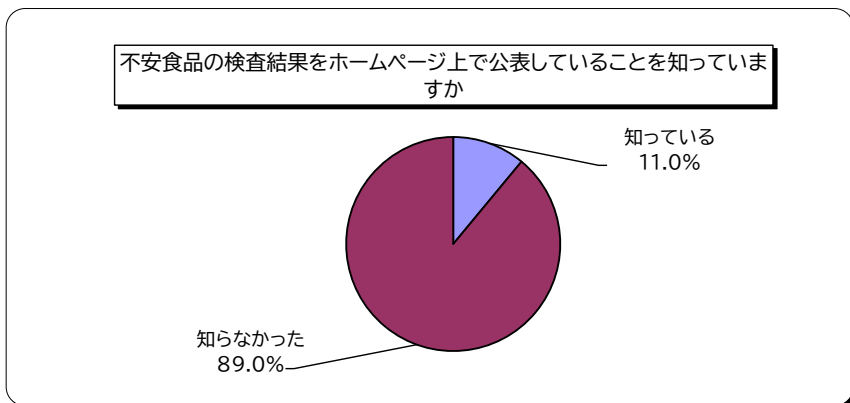
指定外添加物※(甘味料、着色料、酸化防止剤)が使用されているのではないかと感じる輸入食品
〈※指定外添加物：日本では使用が認められていない食品添加物〉

人数(人)



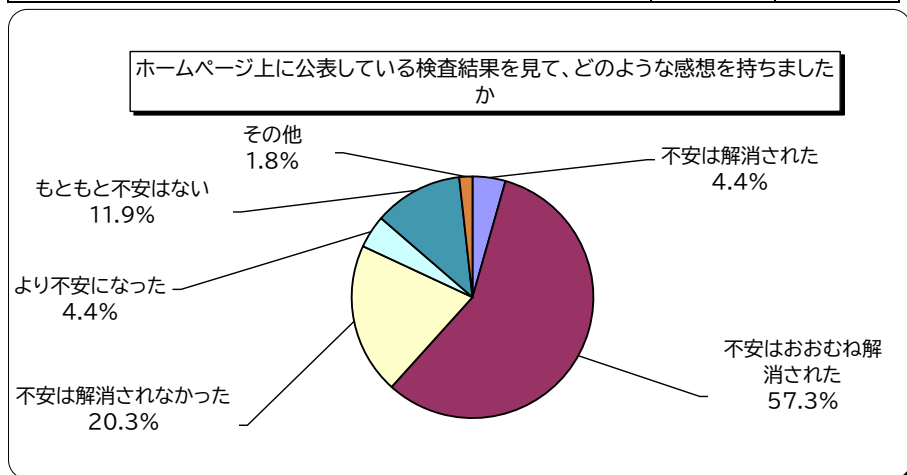
問6 滋賀県では、平成26年度から県政モニターアンケート結果を参考に、「不安を感じている」と回答された割合の高い食品を選んで検査を実施し、令和7年度に実施した結果についてはホームページ上に公表しています。このことを知っていますか。(回答チェックは1つだけ。n=227)

項 目	人数(人)	割合
知っている	25	11.0%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	202	89.0%
合計	227	100.0%



問7 ホームページに掲載している食品の検査結果を御覧になって、どのような感想を持ちましたか。(回答チェックは1つだけ。n=227)

項 目	人数(人)	割合
不安は解消された	10	4.4%
不安はおおむね解消された	130	57.3%
不安は解消されなかった	46	20.3%
より不安になった	10	4.4%
もともと不安はない	27	11.9%
その他	4	1.8%
合計	227	100.0%



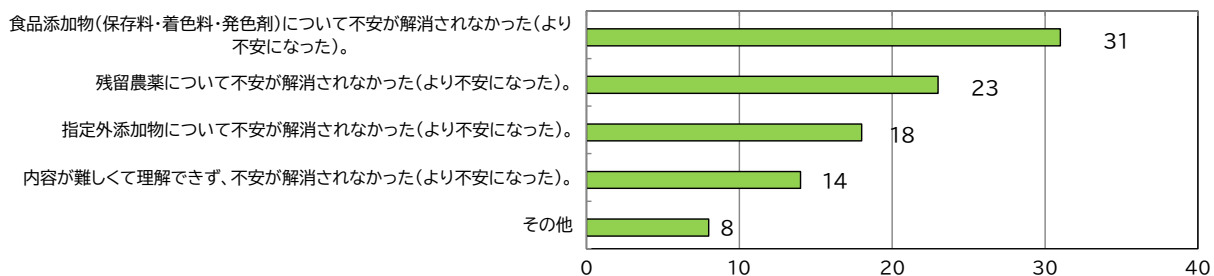
【問7で「不安は解消されなかった」「より不安になった」と回答された方にお尋ねします。】

問8 ホームページ上に公表している3つの検査結果(残留農薬、食品添加物、指定外添加物)を踏まえて不安が解消されなかった、より不安になった項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=56)

項 目	人数(人)	割合
食品添加物(保存料・着色料・発色剤)について不安が解消されなかった(より不安になった)。	31	55.4%
残留農薬について不安が解消されなかった(より不安になった)。	23	41.1%
指定外添加物について不安が解消されなかった(より不安になった)。	18	32.1%
内容が難しく理解できず、不安が解消されなかった(より不安になった)。	14	25.0%
その他	8	14.3%

ホームページ上に公表している3つの検査結果(残留農薬、食品添加物、指定外添加物)を踏まえて不安が解消されなかった、より不安になった項目

人数(人)

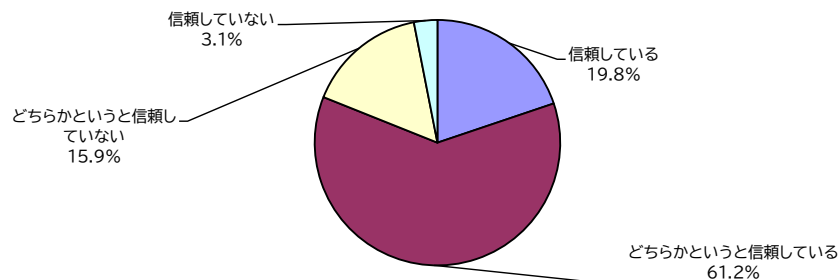


問9 食品にたずさわる関係者に対する信頼感についてお尋ねします。(回答チェックは各1つ。n=227)

(1)国などが定める食品の基準(食品添加物の使用基準など)について

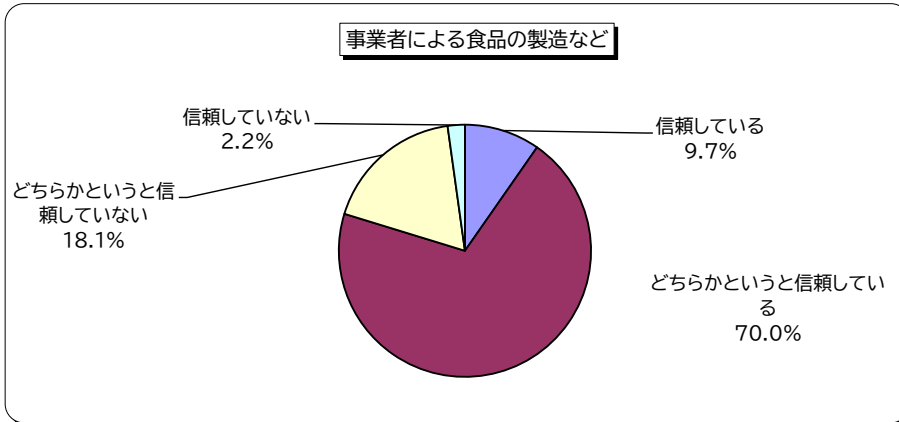
項 目	人数(人)	割合
信頼している	45	19.8%
どちらかという信頼している	139	61.2%
どちらかという信頼していない	36	15.9%
信頼していない	7	3.1%
合計	227	100.0%

国などが定める食品の基準



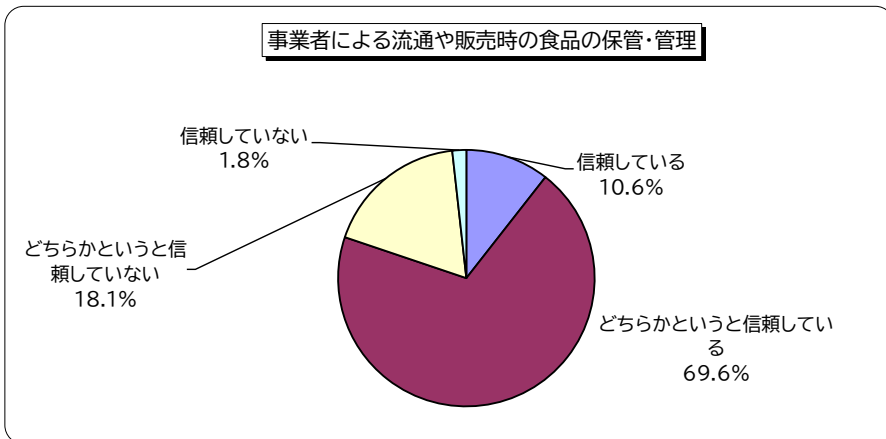
(2)事業者による食品の製造などが適正に行われているかについて

項 目	人数(人)	割合
信頼している	22	9.7%
どちらかという信頼している	159	70.0%
どちらかという信頼していない	41	18.1%
信頼していない	5	2.2%
合計	227	100.0%



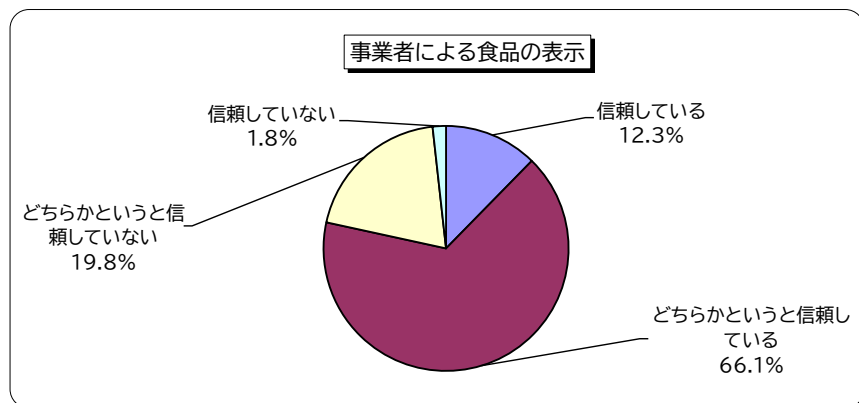
(3)事業者による流通や販売時の食品の保管・管理が適正に行われているかについて

項 目	人数(人)	割合
信頼している	24	10.6%
どちらかという信頼している	158	69.6%
どちらかという信頼していない	41	18.1%
信頼していない	4	1.8%
合計	227	100.0%



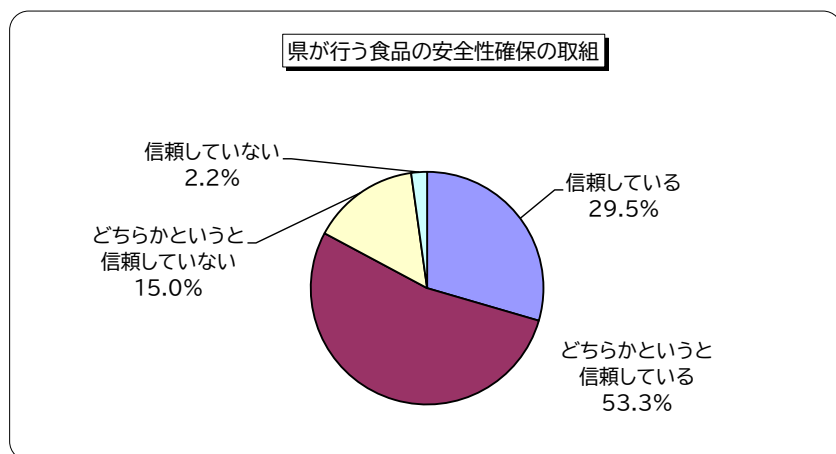
(4)事業者による食品の表示が適正に行われているかについて

項 目	人数(人)	割合
信頼している	28	12.3%
どちらかという信頼している	150	66.1%
どちらかという信頼していない	45	19.8%
信頼していない	4	1.8%
合計	227	100.0%



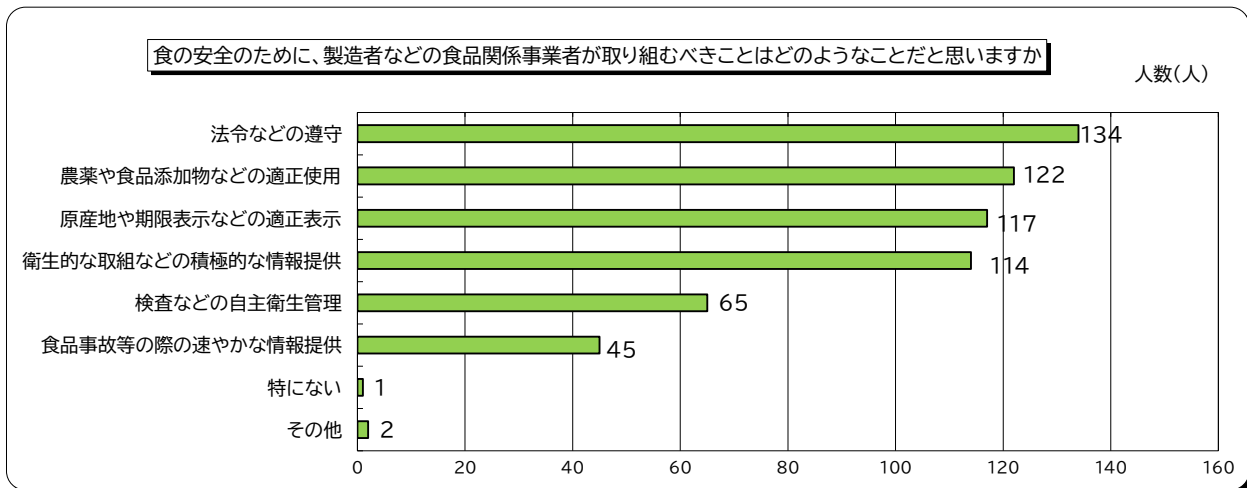
(5)県が行う食品の安全性確保の取組(飲食店などの立入検査や食品の検査等)について

項 目	人数(人)	割合
信頼している	67	29.5%
どちらかという信頼している	121	53.3%
どちらかという信頼していない	34	15.0%
信頼していない	5	2.2%
合計	227	100.0%



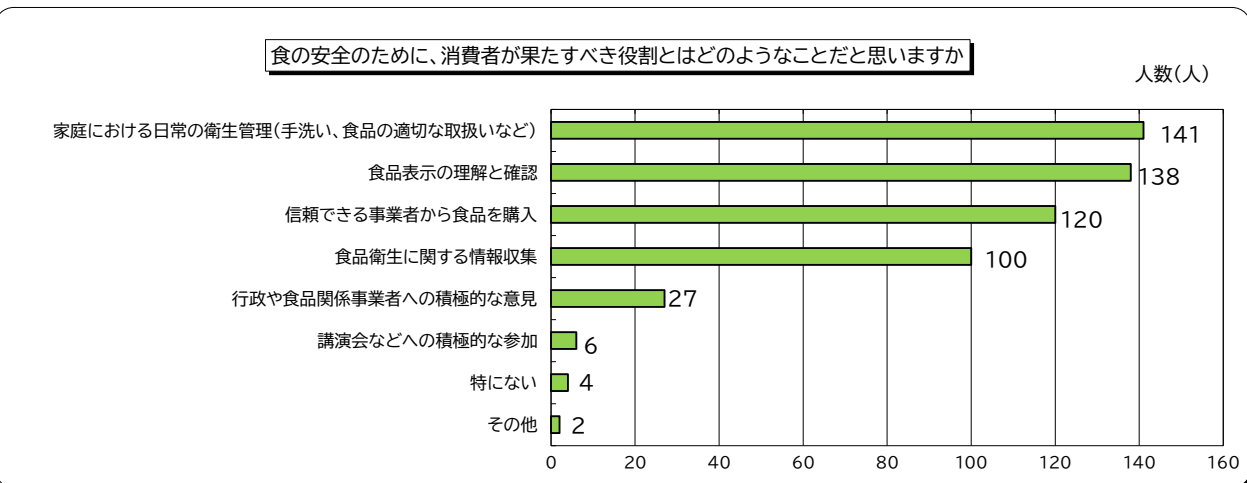
問10 あなたは、食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。
 (「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=227)

項 目	人数(人)	割合
法令などの遵守	134	59.0%
農薬や食品添加物などの適正使用	122	53.7%
原産地や期限表示などの適正表示	117	51.5%
衛生的な取組などの積極的な情報提供	114	50.2%
検査などの自主衛生管理	65	28.6%
食品事故等の際の速やかな情報提供	45	19.8%
特にない	1	0.4%
その他	2	0.9%



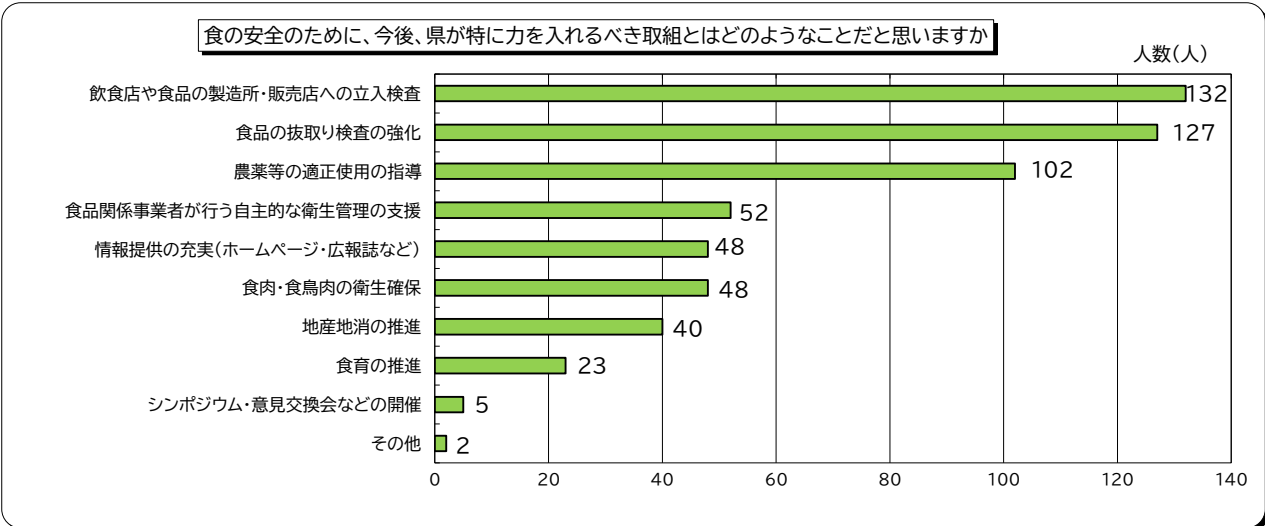
問11 あなたは、食の安全のために、消費者が果たすべき役割とはどのようなことだと思いますか。
 (「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=227)

項 目	人数(人)	割合
家庭における日常の衛生管理(手洗い、食品の適切な取扱いなど)	141	62.1%
食品表示の理解と確認	138	60.8%
信頼できる事業者から食品を購入	120	52.9%
食品衛生に関する情報収集	100	44.1%
行政や食品関係事業者への積極的な意見	27	11.9%
講演会などへの積極的な参加	6	2.6%
特にない	4	1.8%
その他	2	0.9%



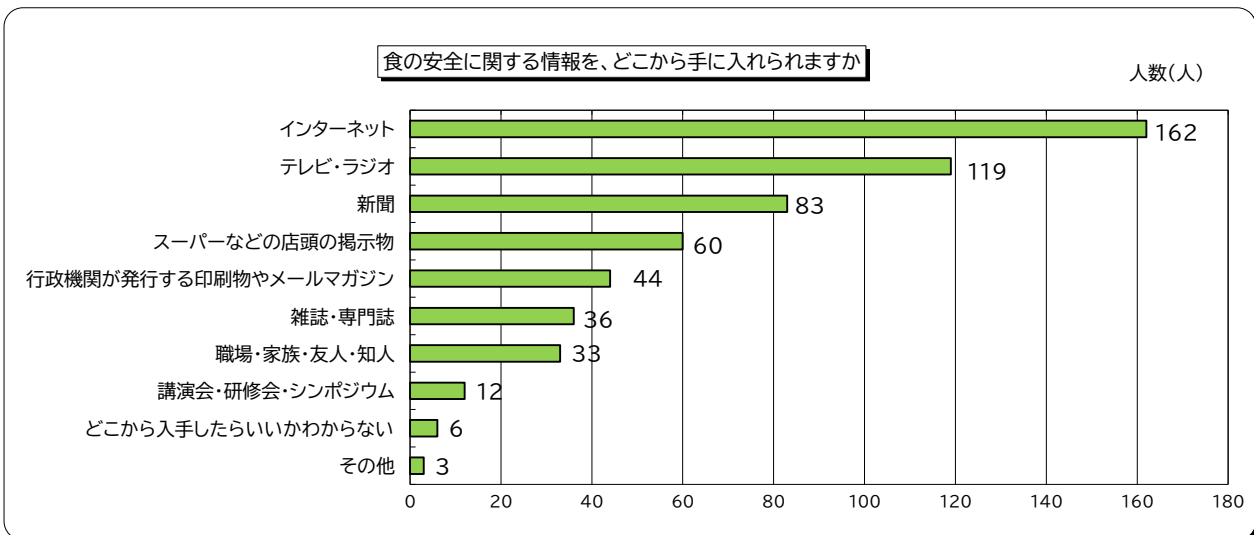
問12 あなたは食の安全のために、今後、県が特に力を入れるべき取組とはどのようなことだと思いますか。
(回答チェックは3つまで。n=227)

項 目	人数(人)	割合
飲食店や食品の製造所・販売店への立入検査	132	58.1%
食品の抜き取り検査の強化	127	55.9%
農薬等の適正使用の指導	102	44.9%
食品関係事業者が行う自主的な衛生管理の支援	52	22.9%
情報提供の充実(ホームページ・広報誌など)	48	21.1%
食肉・食鳥肉の衛生確保	48	21.1%
地産地消の推進	40	17.6%
食育の推進	23	10.1%
シンポジウム・意見交換会などの開催	5	2.2%
その他	2	0.9%



問13 あなたは、食の安全に関する情報を、どこから手に入れますか。
(「どこから入手したらいいかわからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=227)

項 目	人数(人)	割合
インターネット	162	71.4%
テレビ・ラジオ	119	52.4%
新聞	83	36.6%
スーパーなどの店頭の掲示物	60	26.4%
行政機関が発行する印刷物やメールマガジン	44	19.4%
雑誌・専門誌	36	15.9%
職場・家族・友人・知人	33	14.5%
講演会・研修会・シンポジウム	12	5.3%
どこから入手したらいいかわからない	6	2.6%
その他	3	1.3%

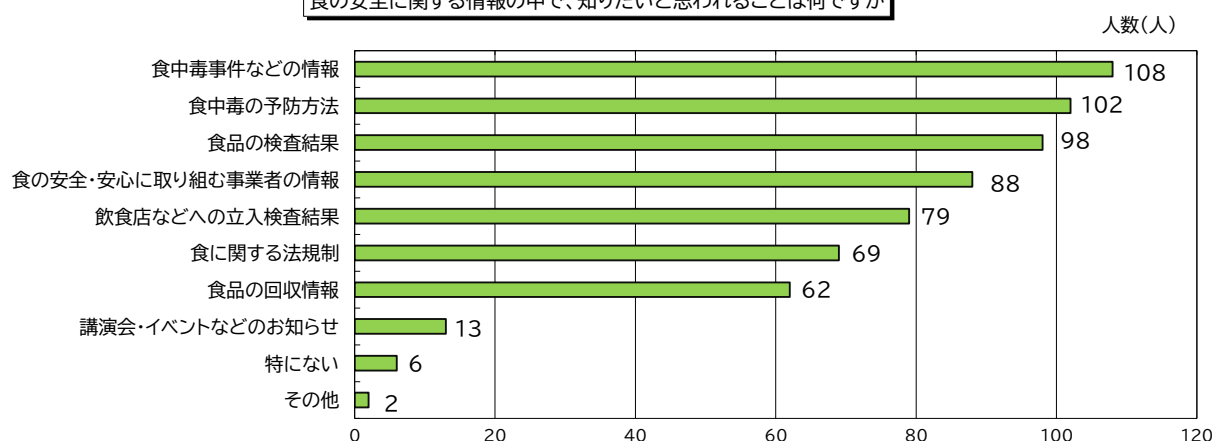


問14 あなたが、食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか。

(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=227)

項 目	人数(人)	割合
食中毒事件などの情報	108	47.6%
食中毒の予防方法	102	44.9%
食品の検査結果	98	43.2%
食の安全・安心に取り組む事業者の情報	88	38.8%
飲食店などへの立入検査結果	79	34.8%
食に関する法規制	69	30.4%
食品の回収情報	62	27.3%
講演会・イベントなどのお知らせ	13	5.7%
特にない	6	2.6%
その他	2	0.9%

食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか

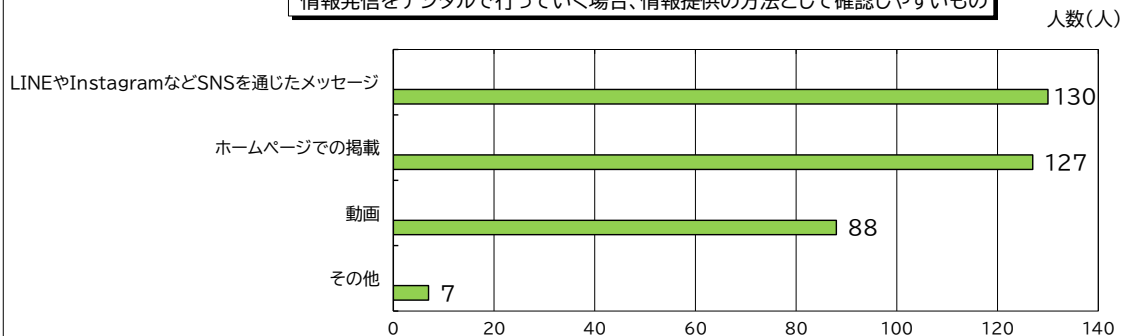


問15 情報発信をデジタルで行っていく場合、情報提供の方法として御自身が確認しやすいものはどれですか。

(回答チェックはいくつでも可。n=227)

項 目	人数(人)	割合
LINEやInstagramなどSNSを通じたメッセージ	130	57.3%
ホームページでの掲載	127	55.9%
動画	88	38.8%
その他	7	3.1%

情報発信をデジタルで行っていく場合、情報提供の方法として確認しやすいもの



問16 あなたが、食の安全について、日頃感じていることを自由に記入してください。(抜粋)

【主な意見】

- ・加工食品や農産物に関しては、あまり不安を感じていません。ただし、食中毒の情報を知ると不安になります。
- ・偽造や法律違反についてはニュースになることもあり目にすることありますが、いかに安全に検査をされているかは、目にすることは少なく、もっと目にする機会があればと思いました。
- ・見た目をよくするための着色料は使ってほしくないと思う。例えば、ハム、ベーコン、明太子、福神漬けなど。
- ・添加物や着色料がたくさん使われている食品が多いように感じるので成分表示をよく読んで購入するようにしています。原材料が外国産のものも多くあると思うので難しいのかもしれませんがもっと国産の原材料商品がお手頃に購入出来たらと思います。
- ・できるだけ安心な食品を購入するように心がけていますが、偽装されていた場合はどうしようもないと感じます。県による検査や情報の公開に期待しています。
- ・スーパーなどで販売されている食材で海外からの輸入品が多いのに驚いています。具体的には見た目が日本製のごとく見せていながら裏面の小さな表示で中国からの輸入と載っている。また、総菜の一部が中国からの輸入になっていたりする。少しなら大丈夫だろうと買っているときもありますが、加工品(うなぎなど)などは絶対に買いません。信用が出来ないからです。鶏肉も南米からの輸入品が増えてきています。加工中、取り扱い中、保管での衛生面などのモラルを懸念・心配をします。食するものは僅かでも日々の積み重ねで過大な影響が出てもどれが原因か解らないでしょう。他に唐揚げなど肉食に傾倒している現状を懸念します。
- ・食品を調理販売する飲食店などの衛生管理が気になる。
- ・ハムやベーコンやウインナーはおいしくて毎日食べたいのですが食品添加物が心配で食べる期間を開けて続けて食べないようにしています。
- ・健康や子どもたちに安全な食事を提供することを意識していますが、家計を考えると安価な食品を選ばざるを得ないことも多いです。また、最近は惣菜を利用する機会も増えているため、素材そのものだけでなく、加工過程や栄養面、安全性についても気になります。給食でコンタミ(異物混入)の連絡が来ることもあり不安はありますが、隠さず情報提供されている点には安心感もあります。
- ・SNSなどネット情報で主に食品添加物や甘味料に対する有害性が取り上げられてるのを見かけたりしますが、本当のところ有害性どうなのかといったところが気になっています。また、国産と表示しながら意図的に海外産を混入させている、あるいは海外産のものを産地偽装したりといったことも見聞します。県から食の安全全般に対する何らかの情報発信があるとよいかもしれません。(あるかもしれませんが、知りません。)
- ・家庭での適切な取り扱いが重要だと思っているが、そもそも不適切な使用などについては知るすべがないと思ってました。このような活動はぜひ続けてテレビなどのわかりやすい媒体で教えて下さい。
- ・農産品、特に加工しない食品の場合には、収穫量、収率が非常に重要になってくるとされる。一方、就業者の高齢化による省力化への投資、飼料、肥料、衛生費といった食の質、安全性を向上させる為のコストは上昇し、生産者にとって非常に重要な問題となっていると思われる。食の安全を確保するには、これらの課題にしっかりと対応しなければならない。コストを価格に転嫁することで解決することもできるが、事業規模によっては難しいこともあると思う。消費者が食品の生産を「知る」ことによって、より食の安全を多面的に見る、考える、理解することも重要なのではないかと思う。事業者からの発信、自治体からの情報提供も大切である。
- ・食の安全について、なかなか自分から情報を取りに行く習慣がないので、SNSやYahoo!ニュースなどで流れてくるような形がいかと思う。
- ・県の食の安全安心に取り組む為の施策を理解し検査結果の確認や、食の安全安心の推進計画など適時確認していきたいと思います。
- ・健康に直結する事で有るため、食の安全確保は大変重要であるが、過剰な警戒・反応は食そのもののへの楽しみを奪う事にもなりかねないので、ある程度俯瞰で見るくらいの感じで良いのではないかと考えています。
- ・食品添加物の多さに不安を感じていて、添加物の記載を確認している。滋賀県産で無添加の物や、極力添加物を減らしている物を見つけると嬉しい。子どもが食べている給食に使われる野菜(滋賀県産)の農薬についても気になっている。